

富山県
朝日町

バタバタ茶

歴史と文化を味わう後発酵茶

バタバタ茶

バタバタ茶は、朝日町の蛭谷(びるだん)集落で古くから飲まれているお茶です。

煮立てた黒いお茶(黒茶)を五郎八茶碗に入れ、茶せんで泡立てることにより、軽くて飲みやすいお茶になります。

バタバタ茶の名前は、“バタバタ”とあせぐらしく(慌ただしく)茶せんで動かして泡立てる動作が由来となっています。

バタバタ茶の歴史

バタバタ茶は、蛭谷集落で室町時代から飲まれていたと言われていました。「文明4年（1472年）蓮如上人が新川郡清水に堂を構え説法をした」という記録があり、説法に伴うお茶にバタバタ茶を利用したと考えられています。

バタバタ茶の風習は、仏教の儀式の一つであるとされており、蛭谷では、月命日、結婚、出産など様々な集いの際に、ご近所を招いて茶会を開催し、親睦を深める場としています。

近年まで、単に「お茶」と呼んでいましたが、早稲田文学の編集者で詩人の相馬御風の随筆に“糸魚川の「たて茶」のことを別名バタバタ茶と言う”とあり、特徴の似た蛭谷の「お茶」をバタバタ茶と呼ぶようになりました。

バタバタ茶は緑茶と同じ不発酵茶で、葉の酵素の力ではなく自然界の菌の力で乳酸発酵させるため、「後発酵茶」と呼ばれます。後発酵茶の間には、中国の“プーアル茶”、土佐の“碁石茶”、“阿波番茶”があります。

また、お茶を茶せんで泡立てて飲む「振り茶」の仲間として、島根の“ぼてぼて茶”、沖縄の“ぶくぶく茶”があります。

室町時代からの
歴史深いお茶



バタバタ茶の道具



茶せん

三年物のすす竹で出来た長さ15センチほどの茶せんを二本あわせて作られます。その形から「夫婦茶せん」とも呼ばれています。



五郎八茶碗

(ごろはちぢゃわん)

朝日町の「笹川焼」
「赤川焼」の焼物で、
抹茶茶碗よりもひとま
わり小ぶりの茶碗です。

バタバタ茶の効能



富山大学学術研究部バイオ材料研究室の分析により、バタバタ茶には抗酸化性を示す「ポリフェノール」や女性ホルモン作用を示す「イソフラボン様物質」を多く含んでいることが実証されました。

脂肪の吸収を抑制する働きがあるほか、美肌効果や血液をサラサラにする効果などが期待されています。

バタバタ茶の楽しみ方

茶葉を木綿袋に入れ1時間程煮出し、まず仏様に一杯目の茶をお供えします。

その後、各々の五郎八茶碗に茶を入れ点てます。その際、茶碗は、手拭いを敷いた膝の上に置き、茶せんを左右に動かし、カタカタと音を立てながら泡を立てます。

さらに、ひとつまみの塩を加えると、味がまろやかになり、いっそう白い泡がこんもりと盛り上がります。

“人と人をつなぐお茶”として、蛭谷地区で大切に受継がれてきたバタバタ茶。各自が持ち寄った山菜や漬物などをお茶請けに、人々が親睦を深めます。



お茶請けも楽しみの一つ



バタバタ茶 の

製造工程



1 茶摘

バタバタ茶はヤブキタ・富春（フウシュン）という品種の茶を使用。一般的な茶と異なり新芽は摘まず、7月下旬から8月上旬にかけて大きく育った茶葉を刈り込みます。



3 蒸らす

蒸し器で蒸された茶葉を丁寧に揉み、常温にして室（むろ）に入れます。



2 裁断

刈り取った茶葉を加工しやすいように裁断し、太い枝などを取り除きます。



4 切替し

発酵が進むと、室の温度が高くなります。温度調節のため、室を分解し茶葉を詰めなおす工程を10～15回程繰り返して、約40日間発酵させます。



5 乾燥

出来上がった茶葉を半日陰干した後、保存性を高めるためにさらに2～3日、天日で乾燥させます。

バタバタ茶体験

下記の施設でバタバタ茶の体験を無料で
行っています。お気軽にお立ち寄りいただき、
地元の人たちとの交流をお楽しみください。

体験
無料



(株)あさひ (販売窓口：朝日町商工会)では
茶葉とバタバタ茶 (ペットボトル) の
販売を行っています。
朝日町商工会
☎0765-83-2280

バタバタ茶伝承館



田舎の交流を
体験!!



バタバタ茶伝承館では、白い湯気をたてて絶えず沸いている
茶釜を囲むように腰掛け、バタバタとお茶を点てながらゆったり
とした時間を過ごすことができます。山菜の煮物や漬物など
のお茶請けも楽しみの一つ。地元の人たちの輪に加われば、尽
きないおしゃべりの時間の始まりです。

素朴な田舎の交流を体験できるのが、バタバタ茶伝承館です。

住 所：朝日町蛭谷484
時 間：10：00～15：00
開館日：月・水・金・土 (12月下旬～2月下旬は閉館)
電 話：0765-84-8870

*冬期間は営業を休止しております。詳しくは役場商工観光課までお問い合わせ下さい。

旧川上家 朝日町歴史公園内



バタバタ茶の
振る舞い!!

朝日町歴史公園は、水車小屋やローラースライダー、ハス池
などがある、総面積1万1700㎡の広々とした公園です。管理棟
の「旧川上家」は、江戸時代の中頃に宿場町だった泊町に建て
られた、県内最古といわれる町屋を移築・復元したものです。
板葺き石置き屋根の妻入の建物の中には囲炉裏や帳場などがあ
り、バタバタ茶の振る舞いを行っています。

住 所：朝日町横水302-1 (歴史公園内)
時 間：9：30～15：00
開館日：月・木～日 (12月下旬～3月中旬は閉館)
電 話：0765-83-1950

*冬期間は営業を休止しております。詳しくは(一財)朝日町文化・体育振興社までお問い合わせ下さい。



朝日町役場商工観光課
☎0765-83-1100

(一財)朝日町文化・体育振興公社
☎0765-83-1838

動画もCheck!

このパンフレットに掲載している情報は、
「YouTube」にて動画でもご紹介しています。

旅するあさひバタバタ茶

検索

YouTube

